

# 学力向上グングン塾便り

令和4年10月  
NO. 5  
稚内市教育研究所



## アンケートへのご協力、 ありがとうございました!

9～10月に、グングン塾に参加している3,4年生の、児童及び保護者の皆さんにアンケートをお願いしました。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。いただいたご意見を参考にグングン塾令和4年度後期を一層充実させていきます。

さて、今回のグングン塾だよりでは、児童アンケートの結果をお知らせします。3,4年生全体の傾向と代表的な子どもたちの声を紹介します。

裏面には、1学期終了時に実施したCRT検証結果を掲載しています。こちらも、是非ご覧ください。

### 子どもの声「グングンに参加して一番良かったと思うこと」

【中央小3年】●楽しいし、わからないところのふくしゅうになった。●友だちといっしょにべん強できてよかった。●マスけいさんがたのしく、じかんもはやくなった。●苦手だったところがとく意になった。計算も早くできるようになった。●おぼえなかった漢字がおぼえれた!

【4年】●友だちにおしえたり、ちゃんと自分から先生のところに行くのがよかった。●グングンで学んだことが授業にいかせること。●あまりのあるわり算が楽しくなった。

【南小3年】●テストに出てる問題もできるし、にがてなところを友だちや先生が教えてくれたから1番良かった。●国語、とても楽しいです。さんすうは、先生がかわってやさしいので楽しい。●いろいろなべんきょうができること。●タブレットとかやれてよかった。

【4年】●前におずかしいと思ったところをグングンでやさしくおしえてくれたからわかる。●みんなにおしえてもらって、じゅぎょうでもにがてなことができたこと。●わり算がはやくなった。

【東小3年】●1番よかったことは、友だちといっしょにべんきょうすることです。●字がていねいにかけるようになった。●かけ算やにがてなわり算もかんたんにできるようになった。●国語の文章問題がにがてだから、入っていっぱいやったからよかった。●算数のタイムがよくなった。

【4年】●勉強にちょっと集中できるようになったとか、計算がちょっとはやくなったこと。●最初はできなかった所もグングンのおかげでできるようになった。●少し勉強がすきになったこと。

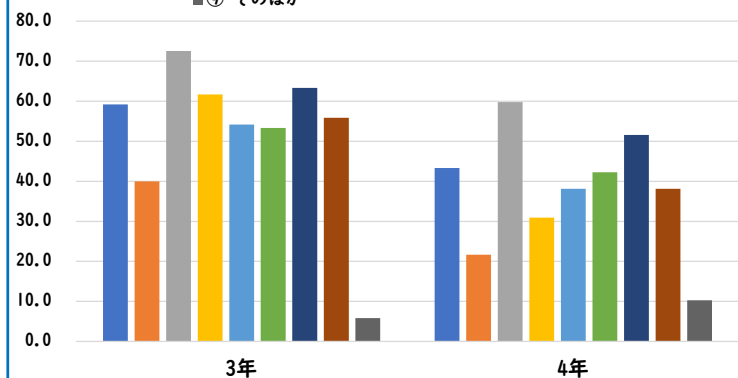
【潮見小3年】●まちがったことを自分で理解できた。●家族にほうこくしたらほめられたこと。楽しく勉強できること。●グングンの時だけ、文章問題が集中できる。●先生がやさしく教えてくれてできた。●タブレットドリルが楽しいと思う。●友だちと考えられることがよかった。

【4年】●わり算、最初はできなかったけど、グングンで練習できた。●いろいろな勉強が一人で進められるようになった。●前にやった勉強がふく習できてよかった。

### 児童アンケートの結果から

#### 自分の変化(複数回答)

- ① ふだんの授業が楽しくなった
- ② すずんで発表することが多くなった
- ③ 今まで分からないことがよく分かるようになった
- ④ テストをすらすらできるようになった
- ⑤ 字をていねいに書くようになった
- ⑥ 分からないことを自分で調べたり考えたりするようになった
- ⑦ 分からないことをどんどん聞けるようになった
- ⑧ 進んで宿題や家庭学習をするようになった
- ⑨ その他



#### 「自分の変化」(複数回答)について

両学年とも、この3年間「今まで分からないことがよく分かるようになった」がトップ。また、「わからないことをどんどん聞けるようになった」という回答も両学年で2位なので、グングン塾が大切にしている、少人数だからこそできるきめ細やかな個に応じた指導によって、子どもたちは自己達成感を感じてくれていると考えます。あわせて、「ふだんの授業が楽しくなった」と回答している子どもも多く、左にある「参加して良かったこと」の記述も含めて見ると、できることが増えたのを授業の中でも実感していることが分かりました。

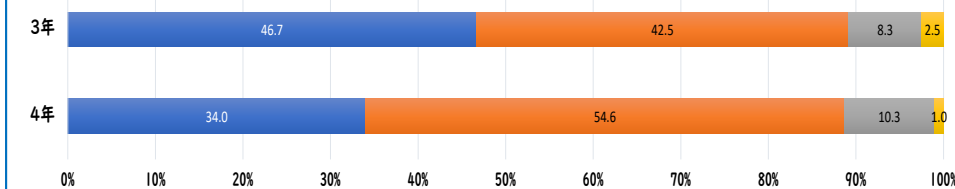
#### 「今の気持ち」について

「参加してよかった、やってみると楽しく勉強できた」と、肯定的な評価をした児童の割合が、3年生は79%、4年生は66%となっています。上の「自分の変化」にも表われていますが、子どもたちは、一定の満足感や達成感を感じてくれていると考えます。一方、「つまらなかった、いやいや参加した」という児童が4年生に3割いて、理由としては6時間終了後の実施になるからか、「帰る時間が遅くなる」「勉強を放課後までしたくない」という声がみられました。

#### 自分の目標

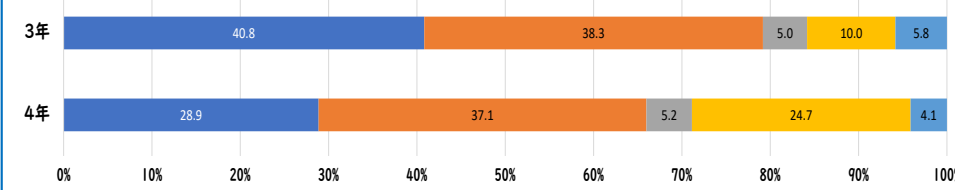
- ① できた
- ② だいたいできた
- ③ あまりできなかった
- ④ できなかった

\*5月当初にたてた各自の目標を振り返りました。



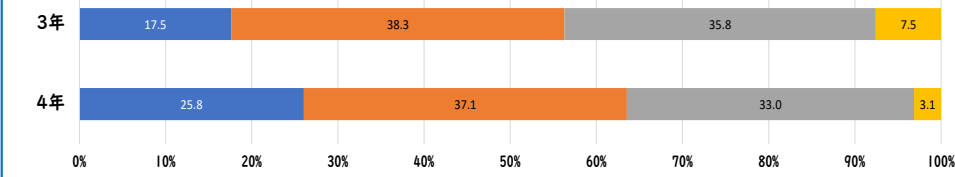
#### 今の気持ち

- ① 自分から進んで参加してとてもよかった
- ② 親にすすめられて参加したけれど、やってみると楽しく勉強できた
- ③ 自分から参加したけれど、つまらなかった
- ④ 親に言われていやいや参加していた
- ⑤ その他



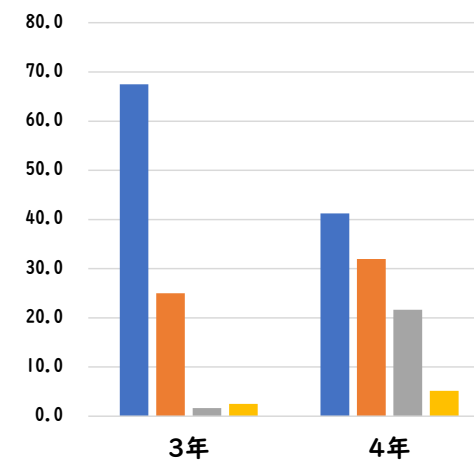
#### 家での勉強時間

- ① 1時間以上
- ② 30分から1時間
- ③ 30分
- ④ しない



#### タブレットについて

- ① とてもよい
- ② どちらかという、よい
- ③ どちらかという、よくない
- ④ よくない



#### 8月の出席率 (4校平均)

	国語	算数	2教科
3年生	84.0%	81.7%	82.8%
4年生	81.9%		

#### 9月の出席率 (4校平均)

	国語	算数	2教科
3年生	81.9%	84.9%	83.5%
4年生	83.7%		

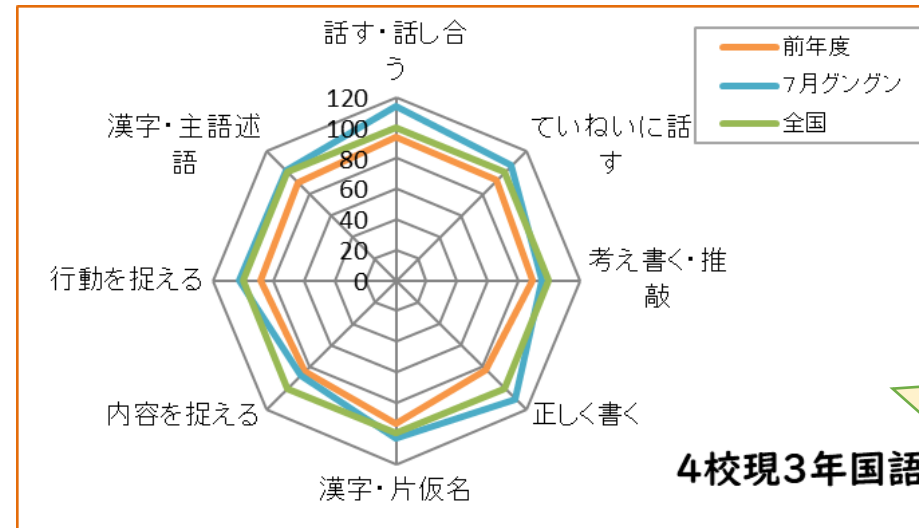
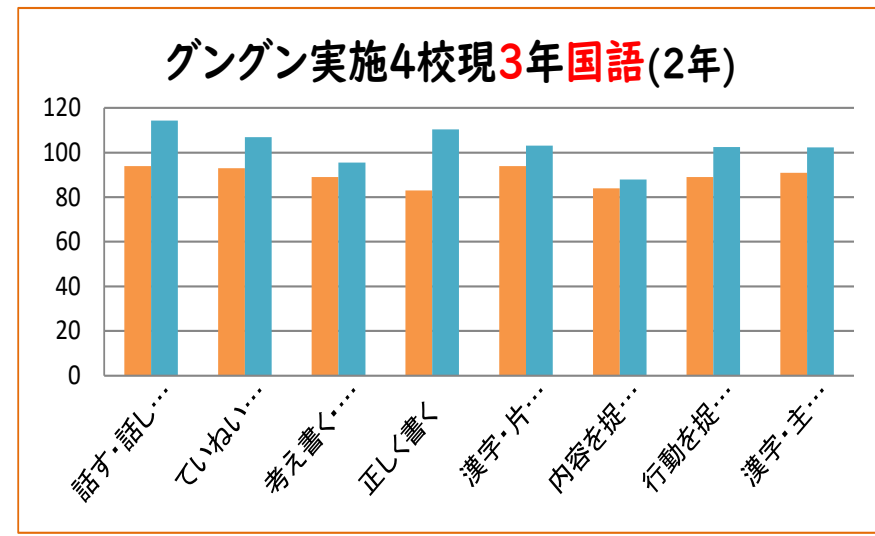
#### 「タブレット」について

タブレットの使用について、「とてもよい、どちらかというよい」を合わせると3年生は92%、4年生は73%と、差はありますが、両学年とも好意的に楽しんで使用していたようです。「間違ったところがすぐ分かり、やり直せる」「メダルがたまるのがうれしい」という声が多数あがっていました。一方、「文字が書きにくいし、反応が悪い」「プリントの方がやりやすい」という意見がありました。

# グングン塾の検証結果！CRT



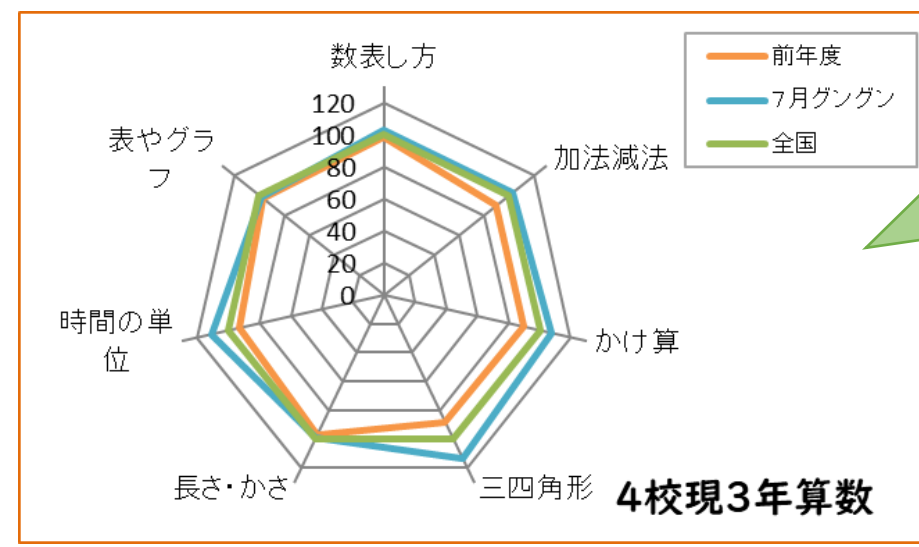
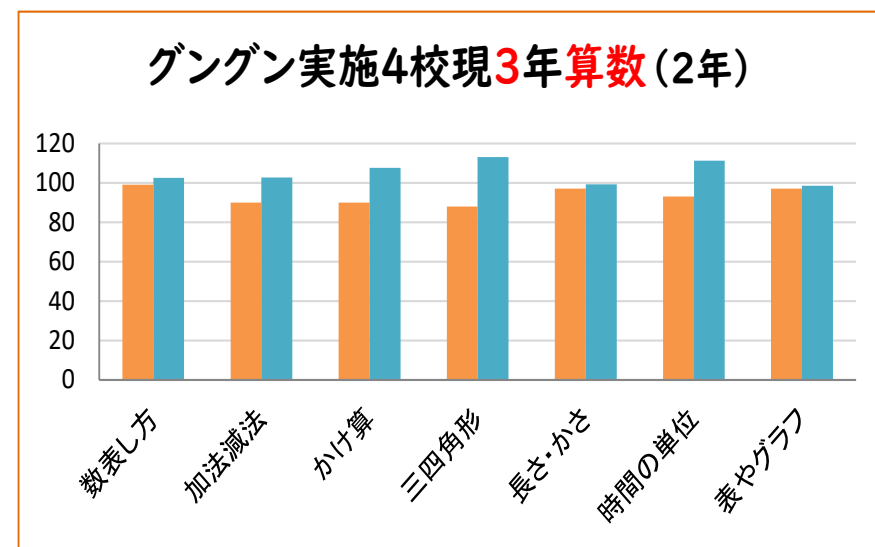
## 令和4年7月実施 CRT 3年国語実施結果(問題は前年度の2年国語 CRT)



グングン塾では子どもたちに確実に力をつけようと、前年度のCRT結果を分析し、5月から7月まで、課題が見られた単元に重点をおいて復習を行いました。7月末には前年度と同じ問題に取り組み、グングンに通っている子どもたちの力のつき方を調査しました(全国平均を100とし、全国比で表しています)。結果は下記の通りですが、確実に力をつけていることが読み取れます。グングン塾も含めて子どもたち自身が勉強をがんばった成果といえます。

- ・前年度は、すべての領域で全国平均を下回りましたが、今回は9領域中6領域で全国平均を超え、全体的に力を伸ばしたことがわかります。
- ・みんなで読み合わせをしてからミニ読解に取り組んだり、実態に合わせて辞典やプリント・タブレットドリルを使って取り組んだことで、「書くこと」「行動の捉え」の領域の顕著な伸びにつながったと考えられます。

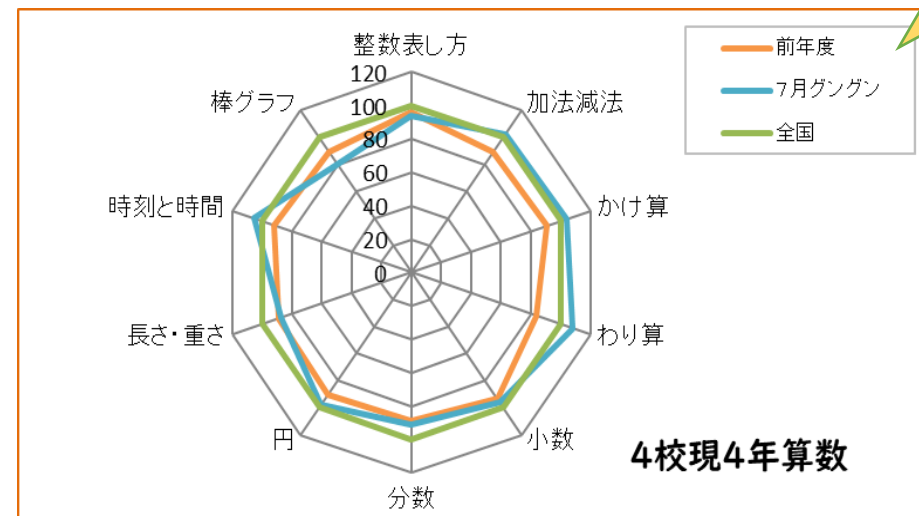
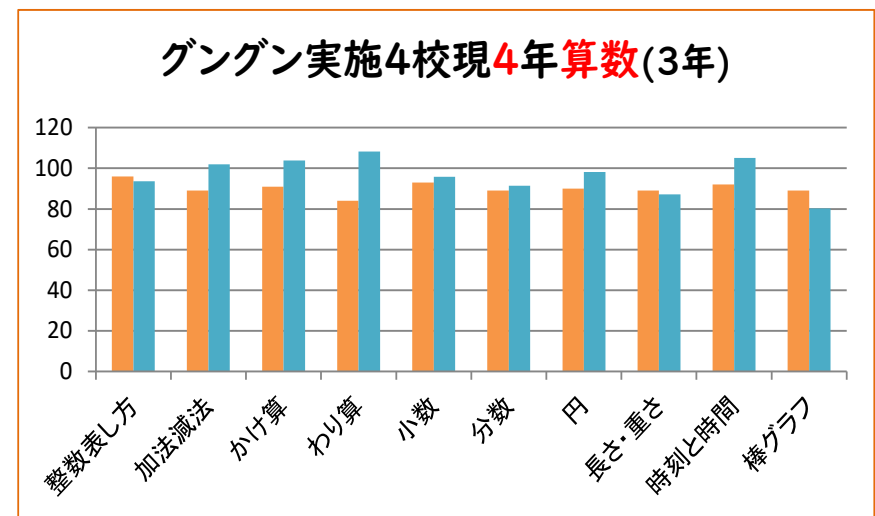
## 令和4年7月実施 CRT 3年算数実施結果(問題は前年度の2年算数 CRT)



- ・すべての領域で前年度を超え、全国平均に達していない2領域も99と、学力の伸びは感じられます。加法減法やかけ算といった、どの子にも習得させたい基本的技能である「数と計算」領域の伸びは、百マス九九の継続した取組が学力向上に有効であると確信できました。
- ・苦手とした、「時間の単位」や「図形」の領域の学習では、プリントとタブレットドリルを併用することで学習内容の定着が図られたと考えています。

- ・「加法減法」「かけ算」「わり算」の領域で、顕著な伸びが見られたが、これは「あまりのあるわり算」の継続的な取組により、わり算の仕方の理解と技能の向上と合わせて、その他の計算技能の習熟が図られたと考えられます。また、実態に合わせてプリントを変えたり、九九表を見せるなどの個別の支援が全体的な数値の向上となって表れたと考えられます。「時間と時刻」の領域も伸びが見られました。
- ・全体的には力を伸ばしてきていますが、考え方や応用・活用を問われる問題は引き続きの課題です。

## 令和4年7月実施 CRT 4年算数実施結果(問題は前年度の3年算数 CRT)



◎ 3年、4年共に、多くの領域で全国平均を上回る等、全体的には力を伸ばしてきています。放課後の学習という大変さがあったと思いますが、グングン塾参加の児童は皆、大変頑張りました。

◆ 課題としては、「問題文や問いの意味を理解する」段階で、つまづきがみられるので、日常のグングン塾でも、「文章・問題をしっかり読む力」を高めていくことです。

◆ 算数では、結果を解釈・説明、結果を考察するなど、考え方や応用・活用を問われる問題には慣れていないので、子どもたちにどのように触れさせていくか検討しなければなりません。